

由良川減災対策協議会の 各機関の取組の進捗状況

令和6年3月末時点

課題番号	1	主な取組項目	≪防災関係機関の連携≫ WEB会議を活用した多機関同時の情報共有
目標時期	毎年度		

概要 タイムラインに基づくwebホットライン

- 令和5年台風第7号において、**タイムラインに基づく webホットラインを実施しました。**
- 会議では、今後の降雨予測や洪水予報等の発令、大野ダムの事前放流等の操作、各避難所の開設等についての情報を参加機関で共有しました。
- WEB会議では多機関が同時に同じ情報を共有するため、**情報収集に費やす時間を短縮できるとともに、より正確な情報共有ができ、状況に即した迅速な災害対応につながると期待されます。**

【実施日】
令和5年8月14日 15時～

【参加機関】
福知山市、綾部市、宮津市、舞鶴市、大野ダム、京都气象台、
国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所、
国土交通省近畿地方整備局防災室



WEB会議の様子

課題番号	5	主な取組項目	《避難情報等の発令基準の策定》 想定最大規模降雨時の浸水範囲や浸水深等を踏まえ、①由良川沿川の道路が全線にわたり冠水したり地区全体が大きく水没するなど垂直避難が不可能な地区については、広域的な避難が出来るよう発令基準を従来より早めるほか、②毎回想定最大規模の水害に対する避難体制をとることが困難かつ現実的でないと考えられる場合は、計画規模等の水害に対する1次避難から2次避難への移行判断基準を設けるなど、地区の実情に応じた避難情報の発令基準を検討し取り決める。
目標時期	令和7年度末		

概要 「京都府における水害からの広域避難計画策定マニュアル」の策定

- 内閣府の「水害からの広域避難に関する基本的な考え方(令和3年5月)」に基づき、広域避難計画の基本的事項の整理、広域避難の判断基準となる既往災害等の降雨状況や河川水位、浸水エリアの拡大の状況などを詳細に分析した災害タイムラインや、広域避難計画の作成手順を示した「広域避難計画作成マニュアル」を市町村との調整を経て令和6年3月に作成。
- 現在、由良川下流域での大規模水害を想定した「広域避難計画」の策定について関係市町村等と検討中。

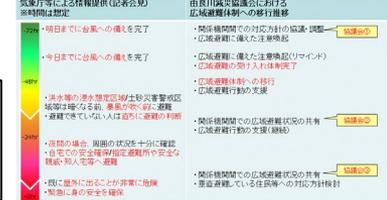
京都府における水害からの広域避難計画策定マニュアル
(令和6年3月京都府 危機管理部 災害対策課)



↑ 流域界を基本とし府域を10のブロックに分割し、ブロック毎に大規模水害時の広域避難計画を検討

→ タイムラインの例示
ex. 台風最接近の72時間前から協議48時間前に広域避難体制へ移行

↓ 避難行動は警戒レベル毎に避難の方針を決定
⇒広域避難は警戒レベル3以下で行う必要がある。



【今後の取り組み】

- 現在、「広域避難計画(素案)」を提示し、関係市町と協議中
- 「由良川圏域減災対策協議会(府)」への部会設置を目指し、WGを設け協議を継続

【課題】

実効性をもった計画策定には下記について関係市町村で合意する必要がある

- ・ 広域避難体制移行の判断基準や手続き
ex. 72時間前から協議が可能か
- ・ 避難先や受入先における具体的な運用の可否
ex. 受入可能か、受入人員の確保が可能か、受入先(学校等)の施設使用可能か 等

課題番号	7、11	主な取組項目	≪避難行動のための情報発信等≫ ■ 夜間の避難が困難なことから、早めの避難情報等の発令や避難所開設を行う場合があることを住民に予め周知。引き続き、空振りを恐れない早めの避難情報等の発令を実施 ■ 避難行動要支援者に対する確実な情報伝達を支援
目標時期	令和7年度末		

概要 令和5年台風7号災害による検証を踏まえた取り組みについて

◆避難所開設の在り方

平日の公民館等開館中限定で、台風等により大雨警報が発表され、避難所開設が確定的な場合や突発的な大雨による警報(警戒レベル4相当)が発表された場合、避難所要員が避難所に到着するまでの間、指定管理者が開設し受け入れを行っていたが、緊急を要する場合は、避難所要員が避難所に到着しなくても、指定管理者で開設することにより、迅速な対応を図る。

◆綾部市自主防災組織等ネットワーク会議のLINEグループ構築

災害時において市内12地区の自治会連合会長とは、個人携帯電話や自宅電話で連絡をとっていた。
 新たな手段として、防災・危機管理課(タブレット)と12地区の自治会連合会長とのLINEグループを構築し、迅速な情報伝達を図る。



◆避難所備品バッグの常備保管



避難所要員は市役所で備品バッグを受け取ってから各避難所へ向かっていたが、各避難所で保管しておくことにより、避難所要員の出勤要請があれば、直接、避難所へ行くことができ、遅延なく円滑な避難所の開設を図る。

課題番号	8	主な取組項目	《災害リスクの表示》 計画規模降雨及び想定最大規模降雨時の氾濫シミュレーションについて、 浸水ナビ登録にて提供
目標時期	令和7年度末		

概要 想定最大規模降雨時の浸水想定区域図を浸水ナビに登録

水防法指定河川及び府条例公表河川の浸水想定区域図を浸水ナビへデータ提供を行い、システムで閲覧できるように調整。

浸水ナビHP

浸水ナビ 中心緯度 36.686041 経度 136.219482 移動 度分秒 住所 --- (付近の住所。正確な所属を示すとは限らない。)

河川から 地点から

①見たい位置へ移動

- 左クリックを押しながらポインタの移動
- トラックボールの回転又は、+・ボタンで拡大と縮小

②地点を指定

- 見たい地点をダブルクリック
- または、下の「地図上で指定」ボタンを押してから見たい地点を指定

検索可能範囲の消去 地図上で指定

地名、住所、座標検索

東京駅、荒川区、35.00 135.00

協力 東大CSIS

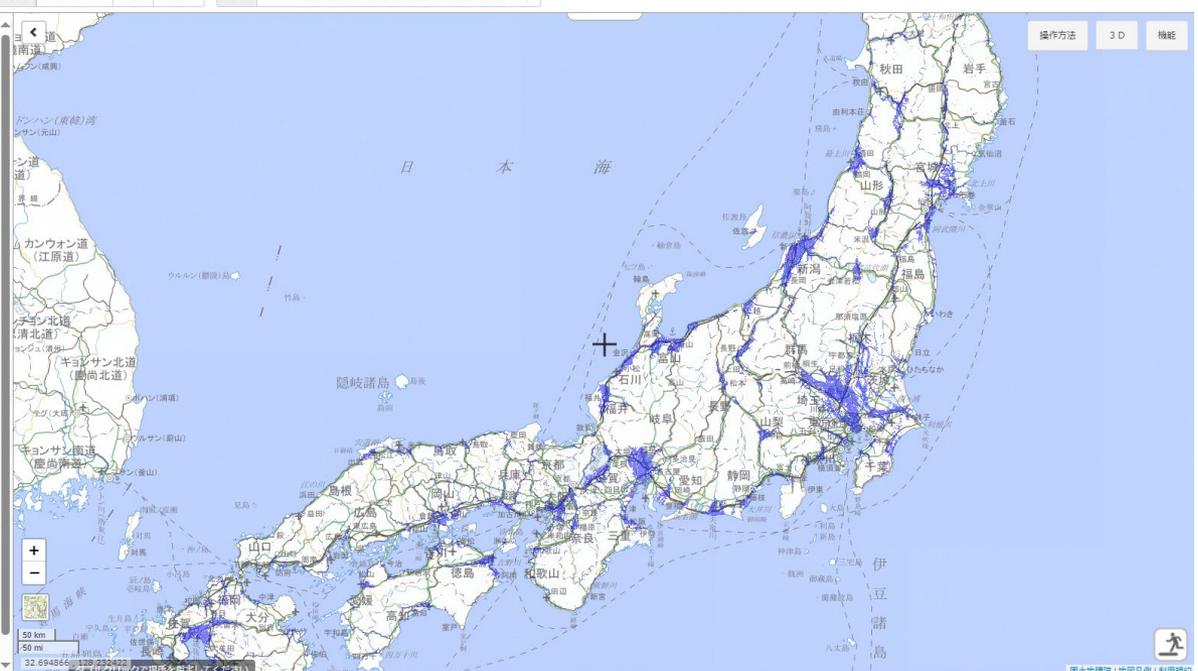
【オプション指定】

規模指定

- 洪水浸水想定区域 (想定最大規模)
- 洪水浸水想定区域 (計画規模)
- 洪水浸水想定区域 (計画規模 (田凡例))

追加情報

- 浸水深が最大の破壊点を表示
- 浸水到達が最速の破壊点を表示



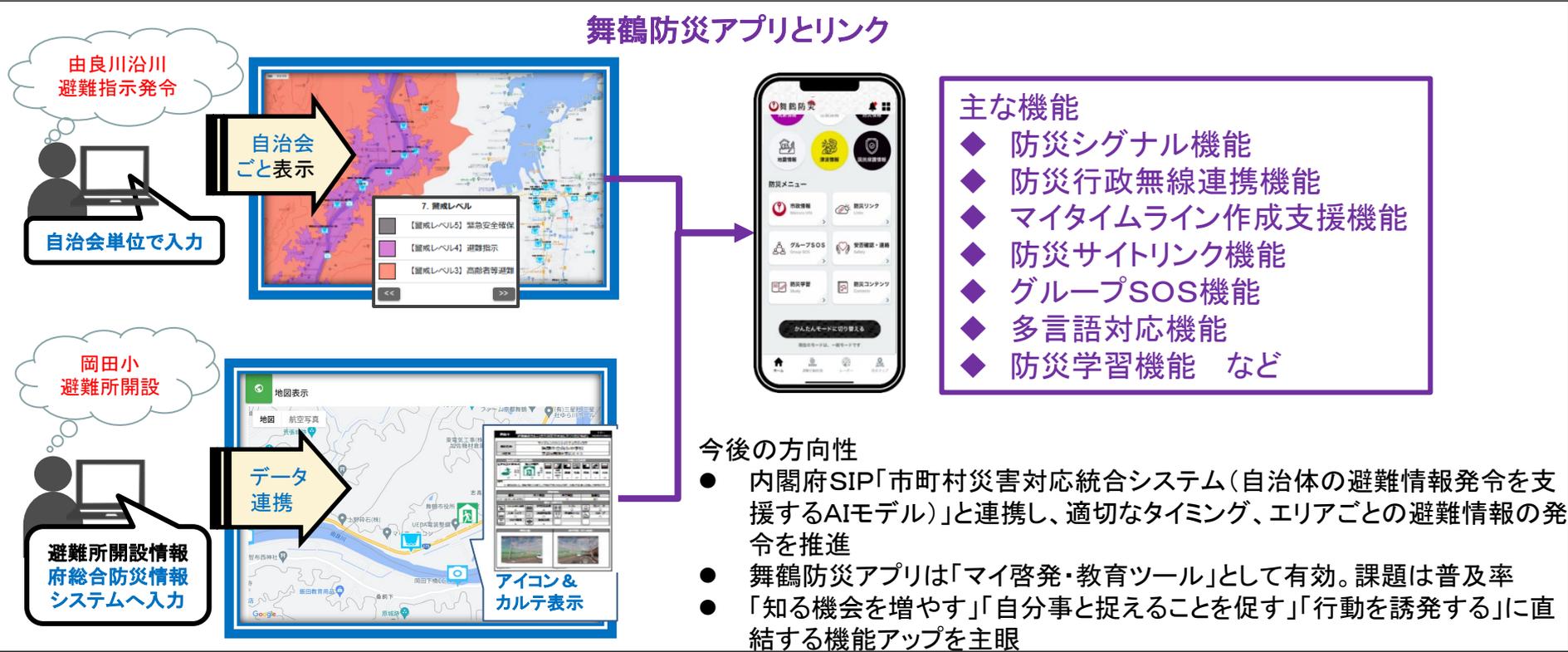
データ不足箇所等確認が必要な個所が多々あり、現在システム登録業者と調整中。

出水期までに閲覧が可能となる様に対応中。

課題番号	10	主な取組項目	《避難行動のための情報発信等》 避難行動のための情報伝達手段の充実及び多様化
目標時期	令和7年度末		

概要 総合モニタリング情報配信システムの機能アップと舞鶴防災アプリとのリンク

- 令和5年6月 避難情報の発令地域を自治会単位で視覚的に表示
- 同 9月 「京都府総合防災情報システム」とデータ連携し、避難所情報等をアイコン&カルテ表示
- 令和6年3月 運用開始の「舞鶴防災アプリ」とリンク

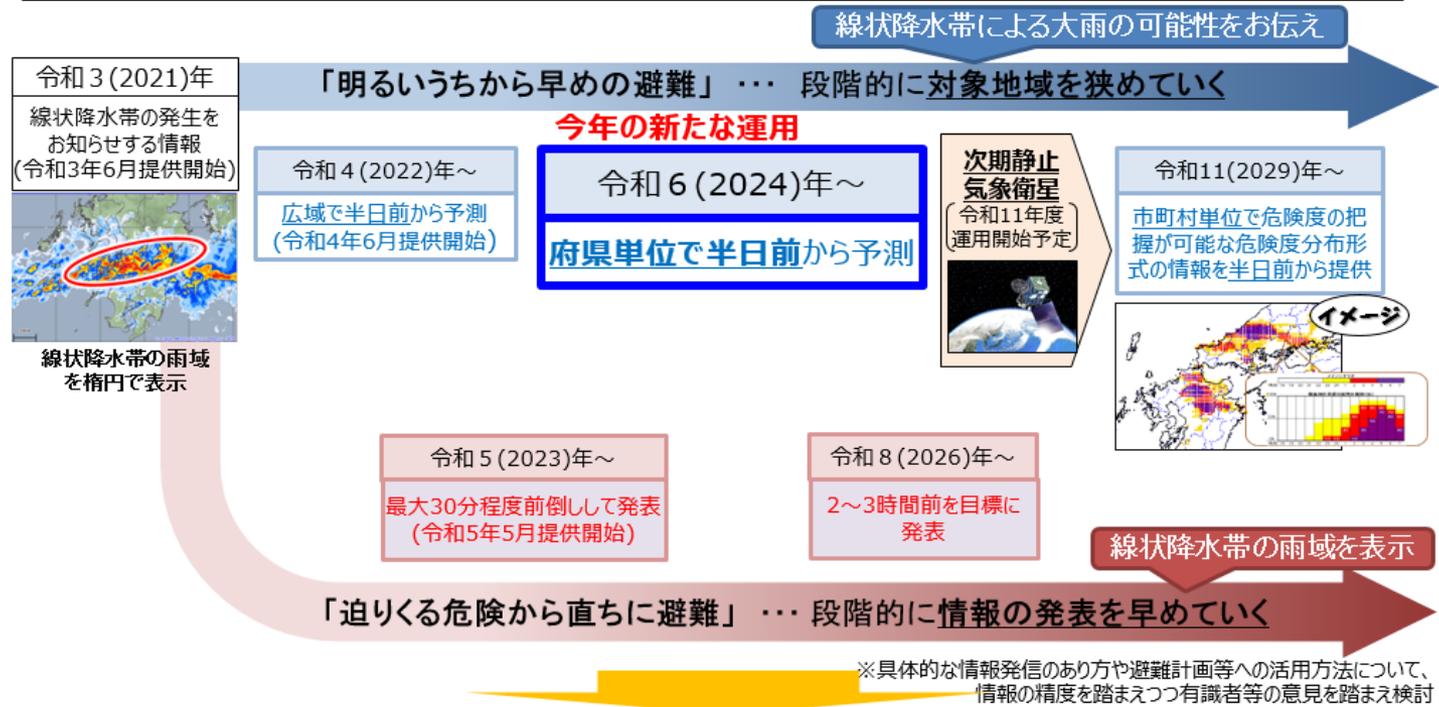


課題番号	10	主な取組項目	≪避難行動のための情報発信等≫ 避難行動のための情報伝達手段の充実及び多様化
目標時期	令和7年度末		

概要

線状降水帯の予測精度向上に向けた取組(情報の改善)

観測や予測の強化の成果を順次反映し、令和4年6月より、線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの呼びかけを、令和5年5月より、「顕著な大雨に関する気象情報」(線状降水帯の発生をお知らせする情報)をこれまでより最大30分程度前倒して発表する運用を開始。
令和6年5月下旬からは、令和4年度から開始した半日程度前からの呼びかけを府県単位で実施。



国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていく

課題番号	10	主な取組項目	≪避難行動のための情報発信等≫ 避難行動のための情報伝達手段の充実及び多様化
目標時期	令和7年度末		

概要

X(旧twitter)で水位情報を発信

- 河川増水時、X(旧twitter)で水位情報を発信します。(令和6年度に試行後、運用予定)
- 今後は、福知山河川国道事務所のXアカウントにおいて水位情報を発信することについて、事務所HPやワークショップ、出前講座、住民参加の訓練等で周知予定です。
(https://twitter.com/mlit_fukuchi)

【対象水位観測所】

福知山、綾部

【情報を発信する基準水位】

氾濫危険水位、避難判断水位、氾濫注意水位

※今後、試行運用等を通じて対象とする水位観測所や情報を発信する基準水位が増減する可能性があります。



テスト用アカウント

1月23日 ...

【#由良川 #河川水位 のお知らせ】
 福知山水位観測所の水位が **#避難判断水位** (5.0m) を下回りました。
 しかしながら、**#氾濫注意水位** を超過した状態は続いておりますので、引き続き災害情報にご注意下さい。
 (2024年01月23日14時20分時点)

🗨️
↻
❤️
📊 8
🔖
↑

運用テスト時の投稿



国土交通省 福知山河川国道事務所
@mlit_fukuchi

国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所です。当事務所が実施する事業等の他、災害対応といった取り組みに関する発信をすることを通じ、福知山河川国道事務所の業務について理解を深めていただくことを目的として、Xによる情報発信を行います。発信専用のため、お問い合わせにつきましては事務所HPからお願いいたします。

📍 京都府福知山市字堀小字今岡2459-14

🌐 kkr.mlit.go.jp/fukuchiyama/

📅 2017年11月からTwitterを利用しています

55 フォロワー中 2,078 フォロワー

福知山河川国道事務所のXアカウント

課題番号	11	主な取組項目	《避難行動のための情報発信等》 避難行動要支援者に対する確実な情報伝達を支援
目標時期	令和7年 度末		

概要

綾部市地域情報アプリ



タブレット型ライフビジョンを機能拡張し、スマホ版の「綾部市地域情報アプリ」を令和6年4月から運用開始。

行政情報や防災情報をお知らせするほか、自治会連合会や自治会もこのアプリからお知らせ配信が可能。

1つの配信で複数のツール(市メルマガ、地域メルマガ、ライフビジョンタブレット版 & スマホ版)に配信が可能。

アプリでは、配信情報のほか、開設避難所等の地図情報や、暮らし情報、広報資料等を掲載が可能。



登録方法はとても簡単！



課題番号	13	主な取組項目	≪避難情報等の発令基準の策定について≫ 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成をできる限り早急に行う。
目標時期	令和3年度末		

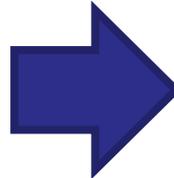
概要

避難確保計画の作成

- 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成を早急に行う。
- 小中学校における避難確保計画の作成を行う。

令和4年度にすべての要配慮者利用施設での計画策定がされましたので、今後については、避難の実効性確保に向け、避難訓練等の実施を図っていただくよう、依頼していくこととしています。

避難確保計画 作成数	～R1	R2	R3	R4	R5	計
	3	13	14	7	—	37

作成対象施設	区分	洪水	土砂	津波	実計		作成
	福祉	10	15	4	25		25
	学校	5	5	2	11		11
	医療	1		1	1		1
	計	16	20	7	37		37

※土砂+洪水など警戒区域が重複する施設あり

課題番号 (目標時期)	14 (令和7年度末) 19(毎年度)	主な 取組項目	<p> ≪防災関係機関の連携≫ 災害時や感染症蔓延下において当該市内の避難所だけで避難者を収容できない場合は、隣接市の避難所や民間施設等の利用、分散避難(在宅避難、垂直避難、親族や知人宅への避難等)について検討や調整を実施し、必要に応じて広域避難体制の構築や避難計画の見直しを実施。あわせて避難時の公共交通機関の利用方法について検討を行う。 </p> <p> ≪防災に関する啓発活動、水害(防災)教育の拡充≫ 自主防災組織への出前講座を継続し実施するとともに、学校関係については、対象を小中高校生徒だけでなく先生等を対象としたものに拡大し、地域の水防災意識を高める。 </p>
----------------	-------------------------------	------------	--

概要 コドモ防災プロジェクト(防災紙芝居の作成)

垂直避難編(全13ページ)



車中泊避難編(全15ページ)



○小さな子どもにも、**視覚的に災害時の避難についてわかりやすく伝えられる**よう、子ども政策室職員を中心に、福祉部局や危機管理部局と合同で紙芝居を作成しました。

○今後の展開としては、**市役所子ども政策室前モニターにて上映するほか、保育園、幼稚園、図書館への紙芝居の貸し出し、健診時での読み聞かせに加え、市ホームページやYouTube等でも公開予定です。**

出来る限り**わかりやすい絵**にすることを心掛け、また、**避難の際に子供が必要以上に怖がらないよう、パステルカラーの多い配色**にしました。

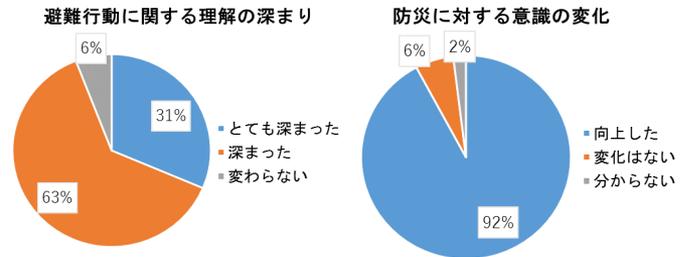


課題番号	17	主な取組項目	《防災に関する啓発活動、水害(防災)教育の拡充》 タイムラインのシナリオに基づく地域住民が参加する避難訓練を実施 その際、避難行動要支援者の避難も想定
目標時期	毎年度		

概要 コミュニティタイムラインの作成 綾部市青野町の住民の方を対象に、コミュニティタイムラインを作成するワークショップを開催し、地域の方々の避難行動、防災に対する意識の向上に寄与しました。

	日時	参加人数	参加機関
第一回	令和5年12月3日	62名	・綾部市 ・京都府
第二回	令和6年 1月21日	58名	・福知山河川国道事務所

第二回後のアンケート結果



作成したコミュニティタイムライン(例)

【第一回】

- ①情報提供:「地域の災害リスクを知る」
「避難の参考となる情報」
「ハザードマップの見方と避難のしかた」
- ②グループワーク:「マイ防災マップを作りましょう」

【第二回】

- ①情報提供:「地域の避難ルール・
地域の支えあいルールを考えましょう」
「マイ・タイムラインを作りましょう」
- ②グループワーク:「コミュニティタイムラインを作りましょう」



避難先についての話し合いの様子



マイ防災マップについて話し合う様子

課題番号	19	主な取組項目	≪防災に関する啓発活動、水害(防災)教育の拡充≫ 自主防災組織への出前講座を継続し実施するとともに、学校関係については、対象を小中高校生徒だけでなく、先生等を対象としたものに拡大し、地域の水防災意識を高める
目標時期	毎年度		

概要

舞鶴市立倉梯小学校の4年生を対象に出前語らいを実施

防災教育に関する支援として、小学4年生を対象として、河川整備及び避難に係る説明を行い、地域の水防災意識を高める出前語らいを実施。



小学生からは「なぜ河川を整備するのか」「どうしたら水害にあわないのか」などの様々な質問があり、学習を深めた。

課題番号	19	主な取組項目	《防災に関する啓発活動、水害(防災)教育の推進》 自主防災組織への出前講座を継続し実施するとともに、学校関係については、対象を小中高校生徒だけでなく、先生等を対象としたものに拡大し、地域の水防災意識を高める
目標時期	毎年度		

概要 小・中学校での出前講座の実施

由良川沿川の小・中学校を対象に由良川の治水対策・歴史・環境について出前講座を行いました。

日時	参加者		
令和 5年 5月29日	福知山市立	桃映中学校	約160名
令和 5年 6月26日	綾部市立	東綾小・中一貫校	8名
令和 5年 9月14日	綾部市立	物部小学校(14日・22日)	9名
令和 5年 9月22日	綾部市立	志賀小学校(14日・25日)	10名
令和 5年 9月25日	綾部市立	志賀小学校(14日・25日)	10名
令和 5年 10月26日	綾部市立	綾部小学校	約80名
令和 5年 10月27日	綾部市立	物部小学校	9名
令和 5年 11月 1日	綾部市立	豊里小学校	36名
令和 5年 11月 6日	綾部市立	豊里小学校	36名
令和 5年 11月 17日	福知山市立	南陵中学校	約180名
令和 5年 11月 24日	福知山市立	上豊富小学校	8名



概要 地域住民への防災講座の実施

由良川沿川の住民の方を対象に過年度の出水及び水位情報の入手方法の説明や、防災ステーションの案内を行いました。

日時	参加者		
令和 5年 6月 1日	舞鶴市	加佐地区	約30名
令和 5年 10月 9日	福知山市	川北地区	約60名
令和 5年 12月 3日	綾部市	青野町地区	約60名
令和 6年 1月 21日	綾部市	青野町地区	約60名



説明資料(抜粋)

「dボタン」による
河川水位情報の入手方法



①NHKのテレビ画面から、ご家庭のTVのリモコンの「dボタン」を押して、TOPメニューの「河川水位情報」を選択し、「決定ボタン」を押します。



出前講座を通して地域の特性や過去の水害・治水の歴史を説明し、水防災意識向上の推進に寄与しました

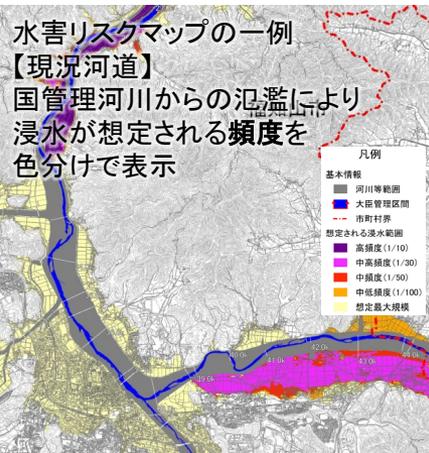
課題番号	21	主な取組項目	≪防災に関する啓発活動、水害(防災)教育の推進≫ 効果的な「水防災意識社会」の再構築に資する広報を検証の上実施
目標時期	令和7年度末		

概要 治水記念館内のコンテンツの充実化

- 福知山市治水記念館において、想定最大規模降雨や計画規模降雨による洪水よりも、発生頻度の高い洪水による浸水被害を示す多段階浸水想定区域図及び水害リスクマップの紹介パネルを作成、設置し、認知度向上を図りました。
- 由良川における過去の災害や治水対策、ハザードマップについて解説する動画を作成し、福知山市治水記念館に設置し、住民が高い水防災意識を持ち続けるための防災教育の推進を実施しました。



福知山市治水記念館



【多段階浸水想定図】
最大規模、計画規模洪水よりも発生頻度の高い1/10規模、1/30規模、1/50規模、1/100規模洪水の場合に想定される浸水範囲や浸水深を示す。

【水害リスクマップ】
洪水浸水深0.0m以上、0.5m以上、3.0m以上となる範囲について、1/10規模、1/30規模、1/50規模、1/100規模の洪水ごとに色分けすることにより浸水頻度を示す。

【新たに展示する防災・減災関連動画】※動画は以下の3部作

■第一章:水害とたたかう由良川

由良川の地形特性、過去の水害、3事業の概要(「由良川下流部緊急水防災対策」、「由良川緊急治水対策」、「由良川流域(福知山市域)総合的な治水対策」)を説明するとともに、気候変動による施設能力を超える災害の可能性を示唆した動画で、自助や共助の大切さを学べる。

■第二章:洪水が起こるとどうなるの?

洪水発生時に想定される状況(水中歩行避難、家屋倒壊の危険性、浸水の長期化)を説明する動画で、早期避難や事前にリスクを把握する重要性が分かる。

■第三章:ハザードマップの使い方

公表されている福知山市のハザードマップを用いながら、ハザードマップに記載されている内容や見方、入手方法を説明する。またマイタイムライン、河川水位情報の入手方法についても紹介しており、事前に把握すべき情報や入手方法を学べる。



新たに設置した啓発動画

課題番号	23	主な取組項目	《水防活動の強化・効率化》 消防団(水防団)が河川管理者等と共に、大規模出水時に水防活動を行う可能性の高い水害リスクの高い箇所を予め把握すべく、水防工法訓練や由良川防災パトロール、災害図上訓練(DIG:Disater Imagination Game)等を実施
目標時期	毎年度		

概要

綾部市消防団水防訓練

指揮命令系統の確立と水防技術の習熟を目的に綾部市消防団水防訓練を実施しました。

《日時》

令和5年5月21日(日)9時～12時

《場所》

綾部市川糸町丹波大橋上流由良川左岸堤防

《参加機関》

綾部市消防団 約170人

消防本部12人

《訓練内容》

改良積み土のう工法

せき板工法

簡易水防工法



課題番号	23	主な取組項目	《水防活動の強化・効率化》 消防団(水防団)が河川管理者、水防管理者等と共に、大規模出水時に水防活動を行う可能性の高い水害リスクの高い箇所を予め把握すべく、水防工法訓練や由良川防災パトロール等を実施
目標時期	毎年度		

概要 舞鶴総合防災訓練

- 地震及び風水害の複合災害を想定し、防災関係機関及び地域住民が一体となった総合的な訓練を、舞鶴市・中丹広域振興局共催で実施
- 福知山河川国道事務所が所有している土のう造成機で作成した土のうを用いて、地元消防団が車両による土のう搬送及び水防工法訓練を実施

○日 時: 令和5年10月29日(日)9時～12時
 ○場 所: 海上自衛隊舞鶴教育隊グラウンド
 ○主 催: 舞鶴市・中丹広域振興局
 ○参加者: 舞鶴市消防団16分団80名



土のう造成機



土のう搬送



中詰め土のう搬送



積み土のう工法

概要 能登半島地震に伴う津波注意報発表時の消防団活動(実際)

- 令和6年能登半島地震発生に伴い、京都府北部に津波注意報発表
- 発表と同時に由良川河口周辺の消防団が住民広報、管内パトロールを自主的に実施。

○日 時: 令和6年1月1日(日)地震発生後ただちに
 ○場 所: 由良川河口周辺
 ○実施者: 舞鶴市消防団2分団7名、消防ポンプ自動車2台



ミーティング



徒歩による避難誘導広報



消防車両による沿岸広報

※各種訓練時の写真を引用

課題番号	25	主な取組項目	《水防体制の強化》 自主防災組織の新規設置に努める
目標時期	毎年度		

概要 防災教育・啓発活動の推進等(地域の水防災意識の高揚)

- 由良川沿川(加佐地区)自治会などへ、防災教育・啓発活動を推進し、地域防災力の向上をサポート
- 「自主防災組織の設立支援」、「ハザードマップ周知」、「地区タイムラインの作成支援」を三位一体で推進



日時	区分	参加者	
令和5年6月1日	全般	加佐地区区長会	約30名
令和5年7月12日	個別	八雲区長会	10名
令和5年7月18日		岡田中区長会	8名
令和5年8月21日		上東地区	7名
令和5年9月5日		丸田東地区	5名
令和6年1月14日		真壁地区	20名

課題等

- 水防災意識レベルは向上。他方、地区タイムライン作成の進捗は低調(リーダー不在、作成方法の理解などが不十分)
- 地理(区)的重点や作成ポイントを再整理して推進。舞鶴防災アプリも活用。
- 福知山河川国道事務所、京都府中丹広域振興局、防災士(舞鶴市養成)と協力して活性化

課題番号	26	主な取組項目	《水防体制の強化》 大規模な氾濫に対してより広域的、効率的な水防活動が実施できるよう関係者の協力内容等について検討・調整
目標時期	毎年度		

概要 水防活動支援システムを用いた国土交通省との訓練

- 水防活動支援システムとは
 - 現場の巡視結果をLINEを用いて簡単に報告でき、リアルタイムで地図上に表示、情報共有が可能。
 - 現場状況の重要度を色分け表示し、危険度の高い個所を視覚的に表示することが可能。
- 課題
 - 京都府等のシステムと連携することにより、データ入力作業を一元化できないか。
 - 水位予測や陸閘操作状況等、各市の特色に合わせたカスタマイズが出来ないか。



水防活動支援 氾濫注意 避難情報 なし 変状への対応状況 0/0件
 情報共有システム 美川水位超過 なし 氾濫情報 本川氾濫なし 参照期間: 2022/07/28 12:50~現在 (最新情報を表示)
 稲田水位超過 氾濫発生

XRAIN・水位などのリアルタイム情報と 重ね合わせ表示システムで集約情報を 閲覧

河川水位
 観測所名 埴田
 水位 5.28m
 氾濫開始水位 5.24m
 氾濫危険水位 4.6m
 避難判断水位 4.2m
 氾濫注意水位 2.5m
 水防回待機水位 2m

LINEからの衛星写真
 投稿日時 2022/08/04 12:07:24
 コーザ名 [redacted]
 重要度 危険
 写真

地図表示の設定

- 重要度高
- 重要度中
- 重要度低
- 極門・極管
- 排水機場
- 水防倉庫・資器材
- 発令中の避難情報
- 水防団の受持ち範囲
- 重要水防箇所
- 過去の浸水範囲
- ハザードマップ
- 浸水想定区域図
- リアルタイム浸水予測結果
 - 能美市
 - 現状
 - 予測

重要度が一目でわかる
地図表示



LINE chat screenshot showing a report of a river water level increase. The message includes a photo of the river and a map showing the location. The sender is 'usiboyystem' and the recipient is '河川課水'.

写真を送りました。写真を2枚以上送られた場合、最後の1枚のみがシステムに反映されます。

現地的重要度を選択してください。

位置を送信してください。

写真にコメントを付加しますか?

コメントを送信してください。1枚の写真につき1回のみコメントを送信できます。

最新位置情報を更新しました
 送信日時: 2023年12月29日 10:26
 重要度: 危険
 北緯: 35.256322
 東経: 135.117148
 コメント: 美川氾濫

課題番号	28	主な取組項目	≪自衛水防の推進≫ 浸水想定区域内の市役所や災害拠点病院等の機能確保に関する情報を共有し、耐水化、非常用電源等の必要な対策については各施設管理者において順次実施。
目標時期	令和7年度末		

概要

災害低減策の策定と推進について

施設所有会社(KTR北近畿タンゴ鉄道株式会社)と毎週火曜日にミーティングを実施し、共通認識のもと異常気象時(豪雨・台風・大雪等災害時)対応策等リスク低減策の検討及び策定を進めている。



- ①北近畿タンゴ鉄道株式会社と西舞鶴車庫(運転所・検修区)の異常気象時(耐水化・非常用電源等)の設置検討を進めている。
- ②具体的な低減策として、竣工から100年経過している由良川橋りょうの橋脚洗堀調査(水中ドローン調査)を施設維持管理に盛り込み実施する。
- ③京都地方気象台の【気象台連絡】を活用し、大雪警報発令時の計画運休実施等、異常時体制を取ることができた。

課題番号	29	主な取組項目	《自衛水防の推進》 水害対策等の啓発活動を引き続き行う
目標時期	令和7年度末		

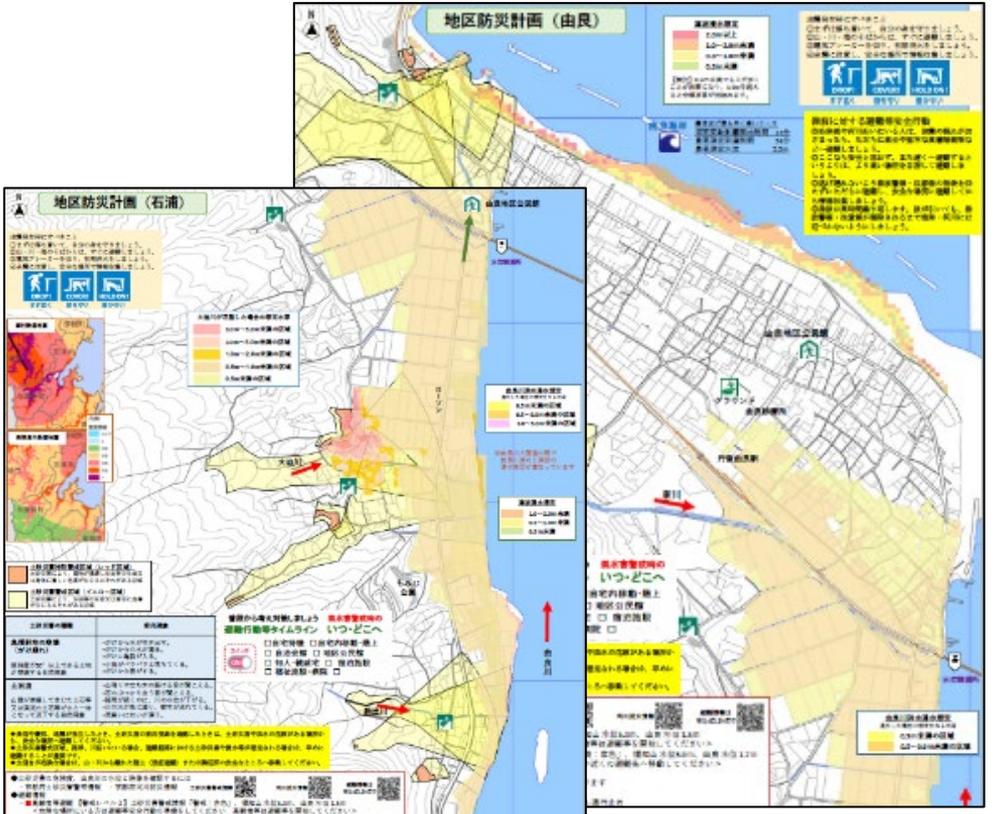
概要 「地区防災計画」作成を推進

地域住民が、地元の災害リスクについて話し合い、防災意識を高め、早期の避難行動が図れるよう、住民自らが災害避難計画を策定する「地区防災計画」作成を推進(令和元年～)。

作成自治会数は、まだ少ない状況なので市民や地域が自助・共助・公助の役割分担の下に、地域の災害リスク認識や正しい避難行動(マイタイムライン)の意識醸成に向けて、講座等を開催し、地区防災計画の作成を推進することとしています。

地区防災計画 作成自治会数

～R1	R2	R3	R4	R5	計
10	5	2	9	0	26



(防災マップ型) 地区防災計画

課題番号	37	主な取組項目	《浸水被害軽減地区の指定》 水防管理者が浸水被害軽減地区を指定する際の参考となるよう、浸水エリアの拡大を抑制する効果があると認められる土地に係る情報（地形データや氾濫シミュレーション結果等）提供を実施
目標時期	令和7年度末		

概要 流出解析と氾濫解析を一体で解析できる「RRIモデル」を使用した、水位・氾濫予測システムの構築

流出解析の「降雨(Rainfall)→流出(Runoff)」、氾濫解析の「氾濫(Inundation)」をモデル化し、氾濫シミュレーションを実施。

